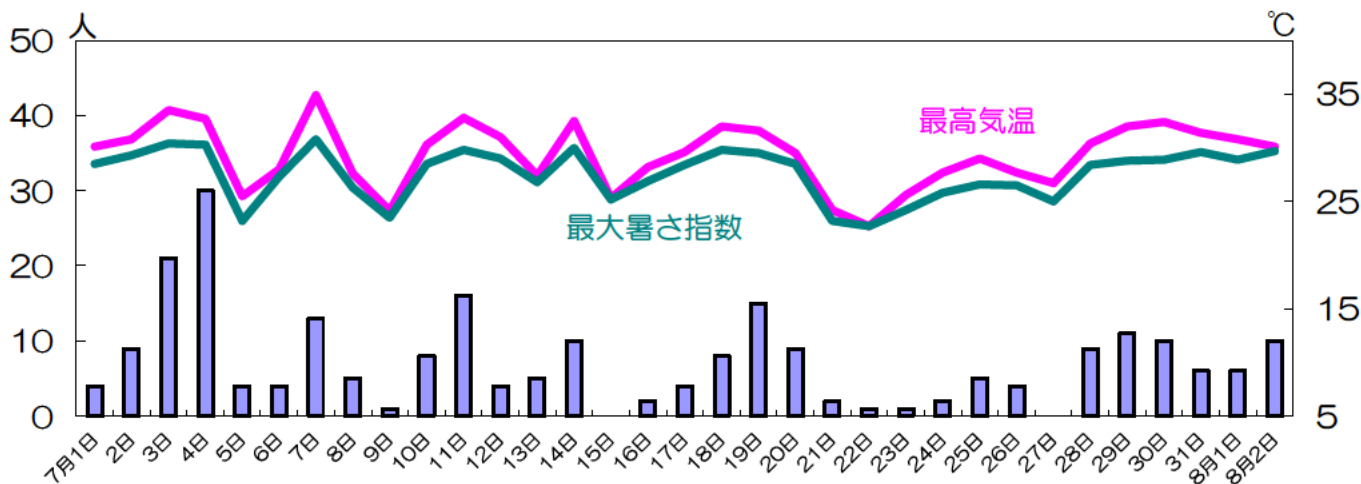


# 熱中症情報

## ＜搬送数＞

平成28年5月1日～8月2日までの搬送数（消防局データを使用）は、計315人（5月27人、6月49人、7月223人、8月16人）でした。最高気温が30℃を超える真夏日は搬送数も多くなりますので、冷房を使い、こまめに水分をとるなど、引き続き熱中症にならないよう注意が必要です。



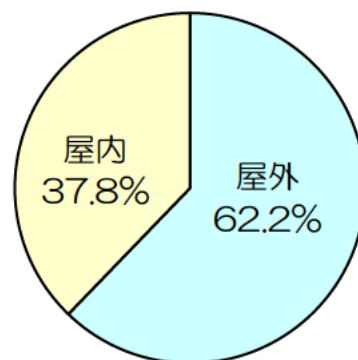
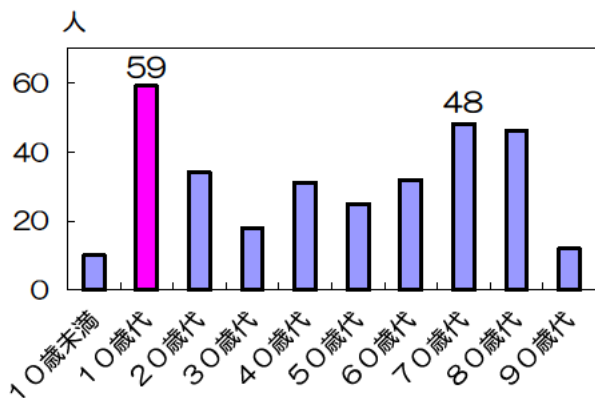
**暑さ指数とは？**人間の熱バランスに影響の大きい①気温 ②湿度 ③輻射(ふくしゃ)熱の3つを取り入れた温度の指標  
詳細は「[環境省熱中症予防情報サイト](#)（暑さ指数（WBGT）とは？）」をご覧ください。

## ＜年齢別＞

年齢別では、10歳代が18.7%と、一番多く、次に70歳代が15.2%でした。

## ＜発生場所＞

屋外62.2%、屋内37.8%で、屋外での発生が多くなっています。



## ＜重症度＞

軽症63.8%、中等症33.3%、重症1.9%、重篤1.0%でした。  
重症以上は9人（重症6人、重篤3人）で、60歳以上でした。  
年齢が高くなるにつれ、中等症以上の割合が増加し、重症化の傾向が伺えます。

